コモディティ・トレーディングの比重の測定

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

プログラムの成長

トレーディング・ハブを示す最も単純な指標は、本プログラムの対象企業数です。入手可能な数字は着実な成長を示していますが、出典が異なるため厳密には比較できません。1989年、前身プログラムの対象は25社でした。2007年5月までに、200社を超える企業がグローバル・トレーダー・プログラム（Global Trader Programme）の対象となっていました。日付のない実務家向けガイドは、GTPステータスを有する企業を270社超としています。[1]2023年、エンタープライズ・シンガポール（Enterprise Singapore）は、約400社のグローバル・トレーダーを誘致して主要な事業活動をシンガポールに定着させたと述べました。その中には、石油、ガス、LNG分野の大手エネルギー企業約150社が含まれます。[2]

これらの数字は慎重に読む必要があります。400社という数字は同機関が誘致したグローバル・トレーダーを指しており、このカテゴリーには現に認定を受けている企業とそうでない企業の双方が含まれる可能性がありま

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

す。ある時点でGTP認定を保有している企業数は、定期的には公表されていません。それでもこれらの数字は規模の目安を示しています。シンガポールには、実質的な事業を営む数百の国際トレーディング会社が拠点を置いており、その中には世界最大級のコモディティ・トレーダーの多くのアジア本社またはグローバル本社が含まれているのです。

商品貿易とその限界

シンガポールの貿易統計は、港を通過する現物貿易の規模を示しています。2025年の商品貿易総額は1兆3,977億シンガポールドルで、うち輸出が7,394億シンガポールドル、輸入が6,583億シンガポールドルでした。再輸出は4,548億シンガポールドルで輸出の約61.5%を占め、地場輸出は2,847億シンガポールドルでした。[3]石油は総額のうち2,063億シンガポールドル、約15%を占めました。2024年、世界の商品輸出に占めるシンガポールのシェアは2.07%でした。[4]

これらの数字が測定しているのは、シンガポールの国境を越える商品です。トレーディング・ハブの中核をなすオフショア取引、すなわちシンガポールの会社がある外国で貨物を購入し、別の外国で販売する取引は捉えられていません。石油がこの乖離をよく示しています。2025年の石油の再輸出はわずか17億シンガポールドルで、世界有数の石油トレーディング・ハブとしては無視できるほどの数字です。[5]シンガポールのデスクが取引する貨物の大半は外国の港の間を直接航行するため、通関統計には一切現れません。2007年、政府は2006年の現物オフショア取引を3,500億米ドル超と推計しました。当時、シンガポールの対外貿易は8,100億シンガポールドルでした。[6]オフショア取引に関する定期的な公式統計系列は、公表されていないようです。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

国民経済計算における卸売業

国民経済計算は、シンガポールで創出される価値をよりよく測定します。2025年、卸売業部門は名目国内総生産7,895億シンガポールドルのうち1,465億シンガポールドルを生み出し、その割合は約18.6%でした。2024年もほぼ同じで、約18.7%でした。[7]したがって卸売業は、2025年の割合が約13.2%であった金融・保険業よりも経済に大きく寄与しています。

卸売業は、コモディティ・トレーディングよりも広いカテゴリーです。電子部品、機械、医薬品、消費財の販売業者が含まれ、その多くはコモディティとは無関係です。公表されている国民経済計算の表では、コモディティ・トレーディングは独立した産業として切り出されていません。そのためコモディティ・トレーディングは、国民生産のほぼ5分の1を生み出す部門の中で、大きいながらも定量化されていない部分となっています。この指標はシンガポールにおける付加価値を捉えてはいますが、政策立案者や一般の人々が最もよく問う問題、すなわちコモディティ・トレーディングがどれだけ寄与しているのかという問いには答えられません。

国際収支と仲介貿易

国際収支は、さらに別の手がかりを与えてくれます。国際収支統計に関する国際基準の下では、仲介貿易（merchanting）、すなわち作成国の経済に入らない商品の購入と再販売は財貨に計上され、純マージンが輸出として現れます。[8]2025年、シンガポールの国際収支は財貨の輸出8,520億シンガポールドル、財貨収支の黒字2,304億シンガポールドルを計上しましたが、通関統計上の商品輸出は7,394億シンガポールドルでした。[9]二つの概念の差はいくつかの調整を反映しており、仲介貿易はその一つです。この差は、公表された表で個別に特定されていないとしても、オフショア・トレーディングが相当な純受取を生み出していることを示しています。ブローカーや代理人が得る手数料を含む貿易関連サービスの輸出は、2025年にさらに179億シンガポールドルに達しました。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

この問題は、ジュネーブ巻でもおなじみのものです。スイスでは、2025年11月に連邦統計局が付加価値の直接推計を公表するまで、スイス国立銀行の仲介貿易統計が長くトレーディング部門の指標とされてきました。二つの指標には3倍の開きがあり、2024年について仲介貿易の純受取が586億スイスフランであったのに対し、付加価値は192億スイスフランでした。[10]シンガポールは、コモディティ・トレーディングについてこれに匹敵する直接的な指標を公表していません。大臣が2006年について引用したような、GTP企業の付加価値に関する調査があれば、この部門の比重を同程度の精度で示すことが可能になるでしょう。

企業構造と利益の所在地

最後の難しさは、トレーディング・グループの構造に関わるものです。1993年に6人のパートナーによって設立されたトラフィグラ（Trafigura）はシンガポールに本社を置き、ジュネーブは引き続き主要拠点の一つとなっています。[11]他のグループは、ジュネーブ、スイスまたはその他の場所に法的な本社を置き、アジアのトレーディングをシンガポールから運営しています。これらの事業体の間での利益配分は、移転価格と、各事業体が果たす機能によって決まります。数千億ドル単位で数えられることの多いグループの売上高は、特定の拠点で創出される価値についてほとんど何も語りません。ジュネーブ巻も、スイスの統計について同じ点を指摘しています。[12]

グローバル・トレーダー・プログラムの実体要件は、シンガポールにこれらの機能を間接的に測る手段を与えています。承認企業は、専門人材の人員数と現地での支出水準についてコミットし、これらはその企業がシンガポールで果たす機能に対応します。そのうえで移転価格ルールが、それらの機能に見合った利益をシンガポール法人に帰属させます。こうして本プログラムは、税制優遇措置を、国際課税ルールが利益配分の基礎とする実体と結びつけているのです。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

注

1. Lim Hng Kiang、Global Trader Summit 2007におけるスピーチ、2007年5月24日：1989年に25社、および“over 200 companies under the GTP”。Rikvin, “Singapore’s Global Trader Programme (GTP)”（rikvin.com、2026年11月最終閲覧）：“more than 270 companies have GTP status in Singapore”。同ページには公表日の記載がない。 ↩
2. Lee Pak Sing, *The Business Times*, 2023年9月4日、JTCにより転載（2026年11月最終閲覧）：“EnterpriseSG has attracted some 400 global traders to anchor their key business activities”。“about 150 major energy players in oil, gas and LNG that have established a presence in Singapore”。 ↩
3. Singapore Department of Statistics, Table Builder, “Merchandise Trade By Commodity Section, (At Current Prices), Monthly”（表M451001、2026年11月最終閲覧）：2025年1月から12月の月次値を著者が合計。商品貿易総額1兆3,977億シンガポールドル、輸出7,394億シンガポールドル、輸入6,583億シンガポールドル、再輸出4,548億シンガポールドル、地場輸出2,847億シンガポールドル、石油貿易2,063億シンガポールドル（うち船舶燃料347億シンガポールドルを含む）。 ↩
4. Singapore Department of Statistics, Table Builder, “Singapore’s Share Of Global Merchandise Trade, Annual”（表M451541、2026年11月最終閲覧）：2024年の世界の商品輸出に占めるシェア2.07%、2024年の世界の商品輸入に占めるシェア1.85%。 ↩
5. Singapore Department of Statistics, Table Builder, 表M451001（2026年11月最終閲覧）：2025年1月から12月の石油（petroleum）の再輸出17億シンガポールドル、著者による合計。 ↩
6. Lim Hng Kiang、Global Trader Summit 2007におけるスピーチ、2007年5月24日（meti.gov.sg、2026年11月最終閲覧）：対外貿易は2006年に13.2%増加して8,100億シンガポールドルとなり、“more than three

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

times our GDP”。“Physical offshore trade was also significant, amounting to more than US$350 billion in 2006”。 ↩

7. Singapore Department of Statistics, Table Builder, “Gross Domestic Product At Current Prices, By Industry (SSIC 2020), Annual”（表M015731、2026年11月最終閲覧）：名目市場価格GDP 7,654億9,750万シンガポールドル（2024年）および7,895億2,920万シンガポールドル（2025年）。卸売業1,434億140万シンガポールドル（2024年）および1,464億8,100万シンガポールドル（2025年）。金融・保険業993億1,280万シンガポールドル（2024年）および1,041億7,600万シンガポールドル（2025年）。割合は著者が算出。 ↩

8. International Monetary Fund, *Balance of Payments and International Investment Position Manual*, 6th edition (BPM6), Washington DC, 2009。財貨勘定における仲介貿易の計上について。 ↩

9. Singapore Department of Statistics, Table Builder, “Singapore’s Balance Of Payments, Annual”（表M060181、2026年11月最終閲覧）：2025年の財貨の輸出8,519億9,130万シンガポールドル、財貨の輸入6,216億2,510万シンガポールドル。財貨収支2,303億6,620万シンガポールドル。2025年の貿易関連サービスの輸出179億3,210万シンガポールドル。 ↩

10. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie G, chapitre V。スイス国立銀行による仲介貿易受取586億スイスフラン（GDPの6.7%）、および連邦統計局（2025年11月18日付プレスリリース）による2024年の付加価値192億スイスフラン（GDPの2.3%、うち58.4%がジュネーブ）を引用。“le premier chiffre représente trois fois le second”。 ↩

11. Wikipedia, “Trafigura”（2026年11月最終閲覧）：1993年に6人の創業パートナーにより設立。本社はシンガポールのOcean Financial Centre。ジュネーブ、ヒューストン、モンテビデオ、ムンバイに主要な地域拠点。2025会計年度の売上高2,403億米ドル。 ↩

12. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie G, chapitre V。売上高と付加価値の混同、スイスの事業体とトレーディング・グループの区

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

別、および移転価格による付加価値の配分（“selon des règles de prix de transfert”）について。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.